

都市再生整備計画 事後評価シート  
前橋市中心拠点地区

令和6年2月

群馬県前橋市

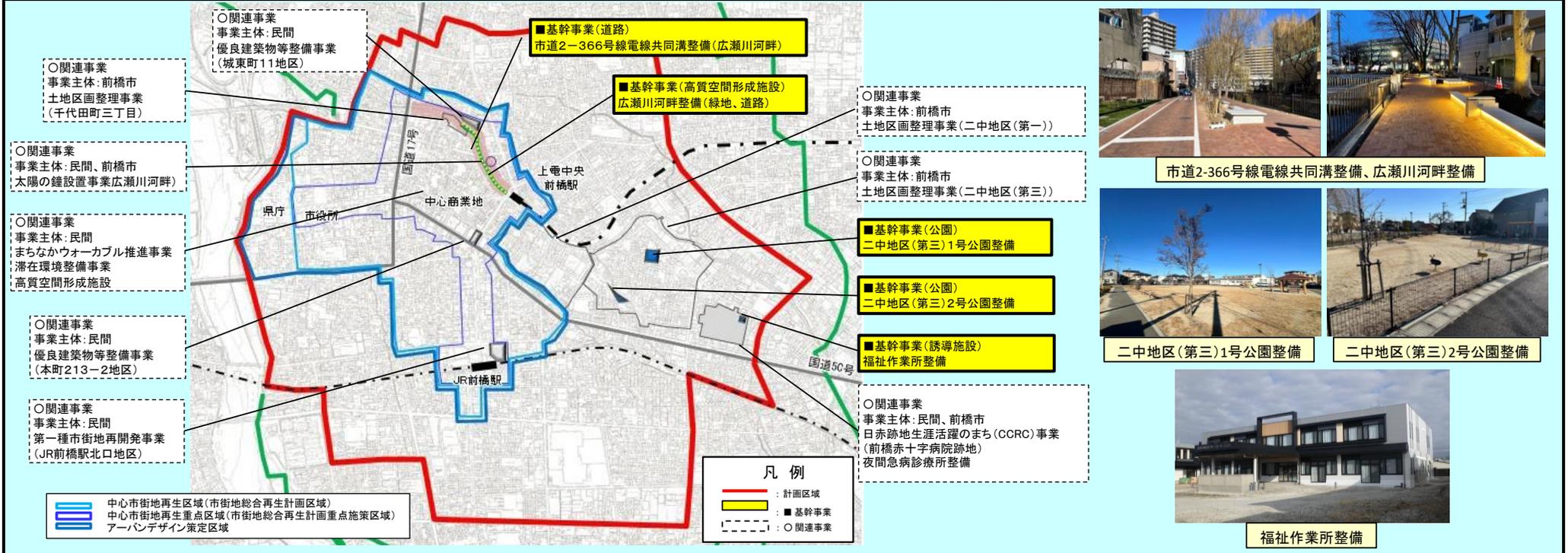
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	前橋市	地区名	前橋市中心拠点地区			面積	535ha			
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	633.9	国費率	0.5					
1)事業の実施状況	当初計画から位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道02-366(電線共同溝) 【公園】二中区地区(第三)1号公園 【高質空間形成施設】広瀬川河畔(緑地、道路)									
		提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【中心拠点誘導施設】老人デイサービスセンター			市街地再開発事業における施設計画の変更に伴う削除。			影響なし			
		提案事業	なし			-			-			
	新たに追加した事業	基幹事業	【誘導施設(社会福祉施設)】福祉作業所(地域活動支援センター)			前橋版CCRC事業の推進による事業の具体化に伴い追加。			影響なし			
		提案事業	【公園】二中区地区(第三)3号公園			区画整理事業の進捗に伴い用地が確保ができたことから追加。			公園の整備に伴い、公園における維持管理活動の参加者数の増加が見込まれることから新たな目標を定量化する指標を追加。			
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
	変更	平成30年度～令和4年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	定住人口	人	26,603	H29	26,603	R4	-	25,362	×	あり なし	-
	指標2	歩行者二輪車通行量	人	12,942	H27	14,600	R4	-	8,276	△	あり なし	-
	指標3	地価上昇	円	99,200	H29	102,100	R4	-	98,178	×	あり なし	-
	指標4	公園の維持管理等の活動への参加者数	人	407	H29	800	R4	-	463	×	あり なし	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	広瀬川河畔を活用したイベントの実施回数	回	0	H29	/	/	-	5	/	/	-
	その他の数値指標2	広瀬川河畔におけるまちづくりプロジェクトへの参加者数	人	0	H29	/	/	-	1,187	/	/	-
4)定性的な効果発現状況	広瀬川河畔の高質化整備に関するアンケート調査の結果、これまでの歩車分離された閉塞された印象や植栽が多く照明配置のバランスなどから暗い印象を持たれていたものが、解消され、明るく歩きやすくなったという感想や、訪れるきっかけになった、電柱が無くなり良好な景観となったなど指標とした通行量以外の高質化整備による地域住民の愛着の醸成や、防犯性や、防災性の向上につながった。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-				
	官民連携による取組①	都市再生推進法人を指定することで、公共空間(道路、河川)を活用したオープンカフェやイベントの企画・運営、空き家や空き店舗を活用するためのメンテナンスなどを実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● 引続き各団体が行う中心市街地のにぎわい創出等に資する取組みの支援を行う。				
	官民連携による取組②	職・住のバランスを踏まえた建物用途・景観形成基準・オープンスペースの配置など、具体的な整備方針(ビジョン)としてアーバンデザインを官民協働で策定。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● アーバンデザインの実現に向けた民間主体の取組みに対し支援を行う。また、アーバンデザインの更新を行う。				
	持続的なまちづくり体制の構築①	都市再生推進法人として2者を指定した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● 都市利便増進協定に基づく取組みを継続できるように支援を行う。				
持続的なまちづくり体制の構築②	官民協働によるアーバンデザイン策定を機に、まちづくりに関する官民相互の技術・能力向上を図るため、アーバンデザイン協議会を構築し、情報交換や研究などを行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● 行政が担っている事務局業務を民間に移行するなど、民間主体による持続可能な運営体制を整え、継続及び発展を図る。					

## 様式2-2 地区の概要

### 前橋市中心拠点地区(群馬県前橋市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・多世代にわたって利便性の高い「都市機能が充実した」災害に強い中心拠点の形成 ・多くの人々が暮らし賑わいにあふれた「まちなか居住」の促進 ・歴史的資産や地域資源を活かした「中心市街地の魅力」の向上	定住人口	単位:人	26,603	H29	26,603	R4	25,362	R4
	歩行者二輪車通行量	単位:人	12,942	H27	14,600	R4	8,276	R4
	地価上昇	単位:円	99,200	H29	102,100	R4	98,178	R4
	公園の維持管理等の活動への参加者数	単位:人	407	H29	800	R4	463	R4



市道2-366号線電線共同溝整備、広瀬川河畔整備



二中地区(第三)1号公園整備

二中地区(第三)2号公園整備



福祉作業所整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アーバンデザインの策定をきっかけに、低未利用地を活用して複合施設が整備されるなど、低未利用地の新たな土地利用が見られるようになった。</li> <li>○広瀬川河畔の高質化整備の実施により、これまで使われてこなかった公共空間を活用した民間団体等が主催するイベントが開催されるようになったことで、回遊性・滞留性が向上した。</li> <li>○浸水想定区域に立地する福祉作業所を都市機能誘導区域内へ移転統廃合し、災害による被害の防止につなげることができた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続的に行っている中心市街地近傍の区画整理事業や計画中の市街地再開発事業によって都市機能の充実と快適性の向上を図り、若年層や子育て世代にとっても住みやすいまちなか居住環境の整備を進める。</li> <li>○回遊性の拠点となる広瀬川河畔における未整備区間の高質化整備を進めると同時に、整備完了区間を活用したイベントの継続と拡大により、更なるまちなかの回遊性・滞留性の向上を図る。また、イベント利用だけでなく、日常的に多様な活動の場として利用されることが求められる。</li> </ul>